

中学校卒業式

これからも応援しています
3月6日(金)、市内の各中学校で卒業式が行われました。藤原中学校では、43人の生徒たちが卒業を迎えました。同校は小中一貫教育となり、9年間をともに過ごしてきた生徒たちの強い絆が感じられる卒業式でした。東松孝校長から「皆さんにはふるさとがあります。そのことを忘れずに安心して前に進んでください」と言葉が贈られました。卒業生代表の伊藤正剛さんは、これまでの思い出を振り返り、家族や先生へ感謝の気持ちを伝え、卒業生に対して「これからも全力で挑戦することを大切に、つらい時にはみんなのことを思い出して前を向いていこう」と力強く語りかけました。



1. 卒業生による合唱。思いが込められた歌に、在校生や家族が涙しました 2,3. 最後のホームルームでは、たくさんの笑顔があふれていました!

いただいた寄附を活用し、オリジナルの木のおもちゃを作る予定です



企業版ふるさと納税

地域の企業から支援をいただきました
2月26日(木)、(株)三五(本社:愛知県)から、いなべ市で取り組んでいる木育推進事業への支援として、企業版ふるさと納税の目録が贈呈されました。同社は、市内に2工場を置く自動車部品メーカーで、グローバル企業として植樹やビオトープ整備など、SDGs達成や脱炭素化に貢献する活動もしています。いただいた寄附は、市内で誕生する子どもに木のおもちゃをプレゼントする事業に活用していく予定です。

入賞の賞状と盾を持って記念撮影をする選手たち



美し国駅伝で第3位

ひとつになってタスキをつなぎました
2月15日(日)、第19回美し国駅伝市町対抗駅伝大会が開催され、三重県庁から三重交通Gスポーツの杜陸上競技場まで42.195kmを小学生から社会人まで10人でタスキをつなぎました。いなべ市は、全国で活躍する選手たちが後半で追い上げを見せ、市の部・総合成績3位に入賞。また、第7区の宮川紗耶さん、第9区の堀綾花さんが区間賞を受賞を果たしました。

みえ組子に挑戦!

三重の伝統工芸を学ぶ
2月27日(金)、藤原小学校の4年生の授業で、みえ組子木工教室が行われました。これは、三重県指定伝統工芸品に登録されている「みえ組子」を、伝承技術として後世に伝えるために三重県建具工業協同組合が開催した授業です。講師は、いなべ市の長野木工から長野政次さんと、菰野町の松山木工から伊藤淳さんが務めました。最初は、建具に使われる材木について学び、次に材木のかんな削りを体験。そして最後にみえ組子でコースター作りに挑戦。小さな木のパーツは少しでもずれると上手く組めません。「どうなってんの?」「上手く入らない」と苦戦しながらも、少しずつコツをつかみ、みんなで完成を喜んでいました。



1. 木の種類や特徴について学ぶ 2. かんな削りを体験。上手く削れるかドキドキ 3. みえ組子でコースター作り。慎重に進めます 4. やっとの思いで完成! みんなで記念撮影

若者からお年寄りまで、たくさんの人が石樽茶を味わいました



地元の味を伝える

スターバックスで石樽茶に関するイベントを開催
2月26日(木)、スターバックス コーヒー 菰野町店で、いなべ市とスターバックスの合同イベントとして石樽茶の試飲会が行われました。伝統ある石樽茶を地域に広めたいとの思いから始まったこの企画は、1月23日(金)から約1カ月間、桑名市、東員町、菰野町の一部店舗で行われました。この日は2種類のお茶が提供され、参加者は「甘い」、「しっかり味がする」と楽しみながら石樽茶を味わっていました。

1. 他にもベビーカーを購入しました 2. ほくせいこども園にて



子育て支援に活用

神戸製鋼所から寄附金をいただきました
令和7年12月5日(金)、(株)神戸製鋼所大安製造所から寄附金が贈呈されました。この寄附は、地域貢献活動の一環として「子育て支援に役立ててほしい」との趣旨でいただいたものです。いなべ市では木育を推進しており、木製の積み木を購入し、私立こども園および保育園(9園)に配布しました。園児たちは木の温もりを感じながら、新しい積み木で楽しそうに遊んでいました。